職務経歴書

2015年11月15日現在

氏名：キャリア太郎

職務要約

株式会社〇〇に新卒入社して7年、システムエンジニア職として自治体／金融システムの開発・設計・保守業務に従事してきました。PM担当としてお客様の置かれている状況から仮説を立てた上で、システム要件設計や納期スケジュールリングの折衝に当たる事をモットーに仕事を進めてきました。「仮説を立てて折衝にあたる」強みと多くのメンバーマネジメント経験を活かして、貴社海外営業職にチャレンジしたいと考えております。

職務経歴

株式会社〇〇〇〇 20XX年XX月～現在

- ・事業内容：ソフトウェア・情報処理（東証一部上場）
- ・資本金：xx億円 従業員数：xx名

期間	業務内容	職位
20XX年XX月 ～20XX年XX月	新人研修	
20XX年XX月 ～現在	システム部公共システム課 配属 【所属・職位】 <ul style="list-style-type: none">・20XX年X月～20XX年X月 自治体プロジェクトメンバーとして、プログラミング・テストを担当・20XX年X月～20XX年X月 自治体プロジェクトPLとして、詳細設計・テストを担当・20XX年X月～20XX年X月 金融プロジェクトPMとして、全体設計・工程マネジメントを担当 【担当業務】 <ul style="list-style-type: none">■自治体・金融システムの開発 地方自治体・金融システム開発チームの一員として、開発・設計・保守業務に従事。 プログラミングと管理系システム構築技術、保守・運用管理ノウハウを習得。 【主な開発実績】 <ul style="list-style-type: none">・資産運用／管理システム 【主な開発環境】 UNIX／Windows NT COBOL／C	20XX年 主任に昇格 20XX年 課長代理に昇格

活かせる経験・知識・能力

- ・仮説を立てて顧客と向き合う折衝力
- ・TOEIC780点
- ・Word、Excel、PowerPoint、AccessなどのPCスキル

自己PR

【仮説を立てて顧客と向き合う折衝力が強み】

入社以来システムエンジニア職として7年間従事し、システム開発の上流から下流まで携わってきました。大きく携わったプロジェクトは2件で、自治体向け/金融企業向けプロジェクトと、大規模かつミスが許されない案件に取り組んできました。大規模プロジェクトだからこそ、お客様がすでに抱えている課題だけでなく、お客様の置かれている状況から仮説を立てた上で、システム要件設計や納期スケジュールの折衝に当たる事をモットーに仕事を進めてきました。

その結果、大規模プロジェクトにも関わらず、他プロジェクトに比べ納期を2ヶ月以上も短縮する事ができた上に、追加システム投資を頂く事になりました。顧客からは「〇〇さんがいたから追加で発注するよ」と嬉しい言葉を頂きました。

この一連のプロセスから、「仮説を立てて顧客と折衝する事の大切さ」を学びました。

2つのプロジェクト経験から、より顧客接点を持てる立場で仕事がしたいと考え、貴社営業職に応募致しました。経験分野は違いますが、今まで培った「仮説を立てて顧客と折衝する事」を強みに頑張りたいと考えております。どうぞ、宜しくお願い致します。

志望動機

大学時代に2年間シンガポールに留学しており、今後の事業展開において、アジア領域での急成長を描いている貴社事業に強い興味を感じています。

前職ではシステムエンジニアとして従事しておりましたが、直接クライアントと接点を持ち、クライアントの海外事業に貢献できるような仕事をしたいと考えておりました。今回、貴社の海外営業求人を見つけて、「自分もこんな環境で挑戦してみたい」と転職を決意致しました。

前職では、仮説を立てて顧客と向き合う折衝力を強みとして、大型システム開発にPMとして関わり、プロジェクトを成功に導いてきました。「顕在ニーズだけでなく、顧客の置かれた状況に仮説を立てる」力をベースに、少しでも早く戦力になれるよう努力したいと考えています。

是非、面接の機会をいただければと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

以上